

## 「AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業」にかかる ユースケース創出課題 募集要項

### 1. 趣旨

「AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業」は、デジタル技術とデータ活用による研究活動の変革（研究DX）を全国的に促進するため、「ユースケースの形成、普及」「データ共有・利活用の促進」「研究デジタルインフラ等の効果的活用」を一体的に進めることを目的とした文部科学省の事業です。国立情報学研究所（NII）は、理化学研究所、東京大学、名古屋大学、大阪大学とともにこれを受託し（2022年度～最大5年間）、実施に取り組んでいます。

上記事業では「全国的な研究データ基盤を活用し、異なる分野間でのデータ連携を前提とした AI・データ駆動型研究のシーズ・ユースケースの創出」を目指していることから、次のとおり、ユースケース創出にかかる課題提案を広く募集します。

### 2. 募集内容

異なる分野間でのデータ連携を目指した AI・データ駆動型研究のユースケースの創出を目的とした課題提案を募集します。

### 3. 参考資料

AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業の公募開始について  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/boshu/detail/1421775\\_00007.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/1421775_00007.htm)

上記サイトに、以下の参考資料が掲載されています。

- 参考資料①「AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業公募要領
- 参考資料②「人工知能等社会実装研究拠点事業費補助金交付要綱」
- 参考資料③「人工知能等社会実装研究拠点事業費補助金取扱要領」

### 4. 応募資格

提案代表者が「AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業公募要領」に定める対象機関（参考資料①）に所属していることを条件とします。提案代表者以外の事業参加者は、対象機関に所属している必要はありません。なお、取り組みにおいては、NII RDCを活用することとします。

### 5. 提案を期待する取り組み

全国的な研究データエコシステムの構築の目的・趣旨にあった提案を歓迎します。

提案は広い基準で評価します。伝統的な研究評価基準での卓越性（トップ国際会議での発表等）だけでなく、研究データ利活用を研究コミュニティで幅広く促進する、またはそれにつながる取り組みを広く評価・歓迎します。以下に評価軸を示しますが、以下に限定するものではありません。

1. 広くコミュニティで使われる、またはそれを目指したデータの創出、蓄積。特に、これまでになかった分野での利用が期待される、またはそれを目指したデ

データの創出、蓄積

2. そのようにして創出、蓄積されたデータの共有の促進。メタデータ整備など必要な処理の実装・体制構築を含む。データ共有における技術的、文化的、コスト的な障壁を乗り越える試み
3. 諸分野での重要課題をデータ活用・データ科学的手法で解決する研究
4. データ活用・データ科学的手法の適用が重要だが進んでいない分野での適用を促進する取り組み
5. 全国的なデータ基盤(NII RDC)やデータ処理基盤(mdx、富岳、HPCI スーパーコンピュータなど)を積極的に活用し、将来発展のための(機能要件、セキュリティ要件、性能要件など)フィードバックとなる取り組み

## 6. 課題実施期間

随時募集を受け、概ね隔月毎に審査します。採択された課題の実施期間は、採択日から、1年目または2年目（申請による）の年度末までとなります。

募集期間は、7.②を参照下さい。

なお、実施期間終了後の継続申請も可能です。また本事業が特別の事情で打ち切りとなった場合、実施期間が単年度だけになる可能性がありますのでご了解ください。

## 7. 応募方法

### ①提案書の提出

「AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業」にかかるユースケース創出課題提案書（様式 1）に必要事項を記入した電子データを「提案書提出先・お問い合わせ先」に電子メールで提出してください。

### ②募集期間

随時受け付けます。詳細は以下のページを参照下さい。

<https://www.nii.ac.jp/creded/use-cases.html>

### ③申請経費の内容および申請額

本委託事業に要する経費は「直接経費」のみとし、「間接経費」は措置されません。事業目的に合致した計画に必要な経費を申請してください。

申請額の上限は原則として 400 万円/年度を目安としますが、特段の理由がある場合はこの限りではありません。年度ごとに必要経費を計上してください。採択された場合、委託額は提案課題の評価結果を反映して、契約締結時に調整することがあります。

## 1. 選定方法および選定結果の通知

ユースケース審査委員会において書面審査により行います。選定結果は、公募スケジュール（7.②参照）に従い、提案代表者に通知する予定です。

## 2. 採択後の契約の流れ

### 【契約の流れ】

委託契約の締結（NII⇄受託機関）

↓

委託費の請求（受託機関⇒NII）



事業実施



年度毎の終了後、実績報告書・完了届提出、委託費額の確定調査および確定通知の送付（NII⇒受託機関）

\*複数年度実施の場合は各年度毎に実施いたします。

### 3. 遵守事項

採択された場合、委託業務を実施するにあたっては、関係法令及び指針等を遵守のうえ、国立情報学研究所の会計諸規程ならびに「AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業公募要領」（参考資料①）「人工知能等社会実装研究拠点事業費補助金交付要綱」（参考資料②）「人工知能等社会実装研究拠点事業費補助金取扱要領」（参考資料③）に従うものとします。

### 4. 成果の公開等

「AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業公募要領」（参考資料①）4. 取組の実施 (7)成果等の発表、13 頁）の記載に従い、本委託事業においても積極的に成果の公開・普及に努めてください。

採択された課題のテーマと成果は、関連するウェブページや発表資料等に、関係者に支障のない範囲での公開を予定しています。

また、事業実施期間および事業終了後に、シンポジウム、セミナー、ワークショップ等で成果報告をお願いする場合は、協力をお願いいたします。

### 5. 提案書提出先・お問い合わせ先

国立情報学研究所 研究データエコシステム構築事業ユースケース審査委員会事務局  
e-mail : dataeco-shinsaoffice@nii.ac.jp